

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	健康福祉基金積立事業			会計	款	項目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-3	誰もが安心して暮らすことのできる生活支援づくり	主管課長	石戸 敏久				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保健医療施設の整備等、市民の健康増進、福祉増進に関する事業	意図	市民の健康と福祉の増進を図るために行う事業に必要な経費の財源に充てるため。
事業内容	市の積立、基金への積立が指定された寄付金、基金の運用から生ずる収益を基金として積立る。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市民病院等保健医療施設整備基金条例、流山市社会福祉基金条例、流山市地域福祉基金条例から移行し、平成18年3月31日から現在に至る。近年はふるさと納税が増えてきている。また、老朽化等に伴う施設改修等で使用している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	積立金取り崩し活用額	59,305	7,134	225,245	千円		
②	ふるさと納税寄付件数	108	584	1,087	件	↑↑↑		
③	一般寄付件数	10	10	7	件	↑↑↑		
④	基金積立残額（年度末）	131,901	264,597	235,087	千円			
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 積み立てた基金は、主にグループホーム等建設整備費補助金・障害者地域生活支援事業費など心身障害者福祉費、学童クラブ施設整備事業に充てられている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		63,480,200	140,366,960	196,262,360				
事業費(b)(円)		62,931,000	139,830,000	195,735,000				
うち一般財源		58,847,318	114,796,853	157,025,062				
職員給与費(c)(円)		549,200	536,960	527,360				
人役・職員(人)		0.08	0.08	0.08				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	寄付行為等の周知を行う。	③取組における課題(Check)	ふるさと納税の事務量が多く、通常業務に支障をきたしている。
②H30に実施した取組(Do)	ふるさと納税のリーフレットを配布し周知を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	ふるさと納税の事務の一本化等により事務の改善を図る。